

平成21年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成20年11月12日

上場会社名 株式会社 フェヴリナ
 コード番号 3726 URL <http://www.favorina.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 神代 亜紀
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

上場取引所 東

TEL 092-720-5420

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	459	—	44	—	45	—	607	—
20年3月期第2四半期	3	—	△62	—	△63	—	△44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	1,324.68	1,322.09
20年3月期第2四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	1,293	1,107	84.2	2,317.99
20年3月期	498	492	96.6	1,024.37

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 1,088百万円 20年3月期 481百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,864	—	63	—	65	—	626	—	1,332.53

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

詳細は、3ページ 定性的情報・財務諸表等 3. 業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

4. その他

(1)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(2)四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、3ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他 をご覧ください。

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 469,866株 20年3月期 469,866株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 83株 20年3月期 15株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第2四半期 469,829株 20年3月期第2四半期 469,851株

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期会計期間におきまして当社は、平成20年8月1日付で連結子会社であった株式会社フェヴリナを吸収合併し、コミュニケーション・セールス事業を行う事業会社として再スタートいたしました。この合併により迅速な経営判断・経営資源の集中を実現し、事業収益基盤の強化を図ってまいりました。

販売面におきましては、We bでの反響著しい「C O 2 ジェルパック」を新規顧客獲得の戦略商品としてプロモーションを強化し、新規顧客の獲得効率が大幅に向上いたしました。また、既存顧客の囲い込み強化として、引き続きオートシップコースの販促に注力し、当第2四半期会計期間末のオートシップコースの顧客数は第1四半期会計期間末に比べ約120%と、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期会計期間の業績は、売上高458,497千円、営業利益79,240千円、経常利益80,428千円、平成20年8月1日付で連結子会社であった株式会社フェヴリナを吸収合併したことによる抱合せ株式消滅差益512,522千円を特別利益に計上したこと等により、四半期純利益622,346千円となりました。

今後も当社は、事業基盤の強化を図り、収益性の向上に努めてまいります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は1,293,354千円（前事業年度末498,371千円）、その内訳は流動資産1,242,167千円、固定資産51,187千円となり、前事業年度末に比べ794,983千円増加いたしました。これは主に当社の連結子会社であった株式会社フェヴリナとの合併による増加及び繰延税金資産の計上による増加であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は186,211千円（前事業年度末5,926千円）となり、前事業年度末に比べ180,285千円増加いたしました。これは主に当社の連結子会社であった株式会社フェヴリナとの合併による増加であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,107,143千円（前事業年度末492,445千円）となり、前事業年度末に比べ614,697千円増加いたしました。これは主に四半期純利益として607,973千円を計上したことによります。

(2) キャッシュ・フローの分析

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期会計期間末に比べ479,324千円増加し、775,561千円となりました。このうち、合併に伴う現金及び現金同等物の増加額は491,481千円であります。このほか、当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用された資金は、12,306千円となりました。これは主として税引前四半期純利益594,830千円、抱合せ株式消滅差益512,522千円、たな卸資産の増加58,976千円、未払金等のその他流動負債の減少72,886千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、150千円となりました。これは長期貸付金の回収による収入150千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による収入、支出はございませんでした。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表しました平成21年3月期業績予想（個別）において、連結の業績予想を個別のものとみなして発表しておりましたが、改めて個別での業績予想を修正発表しております。新しい個別業績予想では、平成20年8月1日の合併により平成20年4月1日から平成20年7月31日（合併期日の前日）までの被合併会社である旧㈱フェヴリナ（連結子会社）の業績が含まれておりません。このため、今回発表の個別業績予想について、売上高、営業利益及び経常利益を大幅に下方修正することとなりました。また併せて、広告宣伝費の増額など販売費及び一般管理費について当下半期の予算見直しを行っております。

一方で、当該合併により特別利益として抱合せ株式消滅差益を約512百万円計上することとなり、当期純利益は大幅に上方修正することとなります。

詳細は本日別途開示いたします、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、旧連結子会社の前事業年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が旧連結子会社の前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、旧連結子会社の前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	775,561	315,831
受取手形及び売掛金	144,113	—
商品	183,514	—
その他	142,800	71,325
貸倒引当金	△3,821	—
流動資産合計	1,242,167	387,157
固定資産		
有形固定資産	10,069	—
無形固定資産	4,535	315
投資その他の資産	36,582	110,899
固定資産合計	51,187	111,214
資産合計	1,293,354	498,371
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,568	—
未払法人税等	2,749	2,624
返品調整引当金	4,265	—
賞与引当金	3,500	—
その他	127,289	3,301
流動負債合計	182,372	5,926
固定負債		
その他	3,838	—
固定負債合計	3,838	—
負債合計	186,211	5,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	—	711,695
利益剰余金	206,768	△1,112,901
自己株式	△601	△280
株主資本合計	1,088,955	481,303
新株予約権	18,187	11,142
純資産合計	1,107,143	492,445
負債純資産合計	1,293,354	498,371

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	459,997
売上原価	91,561
売上総利益	368,436
販売費及び一般管理費	324,380
営業利益	44,055
営業外収益	
受取利息	337
受取補償金	253
その他	654
営業外収益合計	1,245
営業外費用	
支払利息	56
営業外費用合計	56
経常利益	45,244
特別利益	
前期損益修正益	2,096
貸倒引当金戻入額	300
抱合せ株式消滅差益	512,522
特別利益合計	514,918
特別損失	
固定資産除却損	291
特別損失合計	291
税引前四半期純利益	559,871
法人税、住民税及び事業税	△10,869
法人税等調整額	△37,232
法人税等合計	△48,101
四半期純利益	607,973

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	458,497
売上原価	91,561
売上総利益	366,936
販売費及び一般管理費	287,696
営業利益	79,240
営業外収益	
受取利息	336
受取補償金	253
その他	654
営業外収益合計	1,244
営業外費用	
支払利息	56
営業外費用合計	56
経常利益	80,428
特別利益	
前期損益修正益	2,096
貸倒引当金戻入額	75
抱合せ株式消滅差益	512,522
特別利益合計	514,693
特別損失	
固定資産除却損	291
特別損失合計	291
税引前四半期純利益	594,830
法人税、住民税及び事業税	△1,378
法人税等調整額	△26,138
法人税等合計	△27,516
四半期純利益	622,346

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	559,871
減価償却費	1,466
のれん償却額	729
固定資産除却損	291
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△512,522
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△352
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	137
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,683
受取利息及び受取配当金	△337
支払利息	56
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,719
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△58,976
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	3,817
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,325
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△59,547
その他	9,506
小計	△46,570
利息及び配当金の受取額	337
法人税等の還付額	16,020
法人税等の支払額	△1,839
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金の回収による収入	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△31,751
現金及び現金同等物の期首残高	315,831
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	491,481
現金及び現金同等物の四半期末残高	775,561

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年8月1日付で、連結子会社であった株式会社フェヴリナと合併しました。この結果、当第2四半期会計期間において繰越利益剰余金が512,522千円増加し、当第2四半期会計期間末において繰越利益剰余金が206,768千円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間損益計算書

区分	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額 (千円)	百分比 (%)
I 営業収益	3,000	100.0
II 売上原価	—	—
売上総利益	3,000	100.0
III 販売費及び一般管理費	65,003	2,166.8
営業利益	62,003	△2,066.8
IV 営業外収益	2,026	67.6
V 営業外費用	3,236	107.9
経常損失	63,213	△2,107.1
税引前中間純損失	63,213	△2,107.1
法人税、住民税及び事業税	△18,282	△609.4
中間純損失	44,930	△1,497.7

6. その他の情報

被合併会社である株式会社フェヴリナ（連結子会社）と平成20年9月30日で連結した場合の四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書は以下のとおりです。

(1) 四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
	金額(千円)
売上高	1,247,503
売上原価	255,175
売上総利益	992,327
販売費及び一般管理費	856,520
営業利益	135,806
営業外収益	
受取利息	337
受取補償金	437
その他	794
営業外収益合計	1,569
営業外費用	
支払利息	56
営業外費用合計	56
経常利益	137,320
特別利益	
前期損益修正益	2,096
貸倒引当金戻入額	300
償却債権取立益	150
特別利益合計	2,546
特別損失	
固定資産除却損	291
役員退職慰労金	5,000
特別損失合計	5,291
税金等調整前四半期純利益	134,575
法人税、住民税及び事業税	1,650
法人税等調整額	△38,055
法人税等合計	△36,404
四半期純利益	170,979

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
区分	金額 (千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	134,575
減価償却費	4,026
のれん償却	2,188
固定資産除却損	291
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△51
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	746
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,050
受取利息及び受取配当金	△337
支払利息	56
売上債権の増減額 (△は増加)	△25,254
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,047
その他流動資産の減少額 (△は増加)	△53,276
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,611
その他流動負債の増減額 (△は減少)	△4,835
その他	9,506
小計	47,250
利息及び配当金の受取額	337
法人税等の還付額	16,020
法人税等の支払額	△4,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	
貸付金の回収による収入	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	300
現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	59,544
現金及び現金同等物の期首残高	716,017
現金及び現金同等物の期末残高	775,561